

提言施策名	桜を活かしたふるさとづくり～景観のランドデザイン～ 提言研究員 堀田 孝義
-------	--

上記提言の要旨

吉川は、田園と整った住宅地が織りなす快適な街であるが、もう一つ町の特徴に欠けるのではないだろうか。折角、2.5キロにわたり500本の桜並木が有るのに、なかなかお花見のできるスポットは少ないし、吉川全体の景観の骨格にもなっていない。本提言では、市街地全体を包むような桜の回廊の輪の形成を提案する。美南中央公園から、二郷半緑道を経由し、二郷半用水路、木売落とし沿いを通り、鍋小路用水路沿いから、東は大場川沿いを南下してエコパーク吉川みどりに至る回廊である。全長約9キロであるが、そのうち約4キロはすでに桜が植えられており、今後植えていきたい延長は2重に植栽する部分を含めて約7キロとなる。これらは、すぐに植えるということではなく、将来にわたってこのような景観のランドデザインをゆっくりでよいので、予算の範囲、市民の協力を得ながら着実に進めてゆくのが良いと考えている。